

第37回

(通算3583回) 例会
令和6年5月9日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

地方都市の地域包括ケアと 自治体病院の将来像

プログラム委員会 担当



2023-24 RI テーマ ● 世界に希望を生み出そう

5月 青少年奉仕月間



福井 敬会長 竹村 司様 岡村 正造 会員 松岡 真由美 会員

会長挨拶

福井 敬 会長

本日は近畿大学医学部客員教授の竹村司様をお招きしての卓話です。当クラブにもお医者さんは多くいらっしゃると思いますが、たくさん勉強した方という印象が強いです。お医者さんが書いた「科学的根拠に基づく最高の勉強法」という本があります。作者の安川康介氏は、慶應義塾大学医学部を卒業後に渡米し、米国ミネソタ大学医学部内科研修、テキサス州ベイラー医科大学感染症研修を修了された南フロリダ大学の医学部助教です。しかも数々の試験で上位1%~10%以内に入るすごい方ようです。しかし、本人は「勉強の仕方が科学的に正しかっただけだ」と言っています。

ではどのような勉強法が科学的に基づいた効率の良い勉強法なのでしょうか。学ぶために決定的に重要なものが「アクティブリコール」というものです。アクティブリコールとは、勉強したことや覚えたいことを能動的に思い出すこと、記憶から引き出すことです。これまでの研究から、何かを記憶するためには積極的に思い出す作業や、脳みそから頑張っ取り出す作業が重要だということが明らかになっています。

勉強した内容を思い出す作業として、覚えたことを白紙に書き出したり、練習問題を解いたり、テストを受けたりすること等の思い出す作業やアウトプットを行うことは、記憶を長期に定着させる効果的な勉強法だということが分かっています。また、誰かに教えることは実際に情報の整理や記憶の定着を促す効果が確かめられています。

奇しくもRIも研修スタイルをトレーニングからラーニングに変更してきました。やはりロータリーの研修も受動的だけだと体に染み付かず、教えることにより身に付くことが分かり、研修のスタイルを変えてきたのではないかと思います。私がもしこの勉強方法を若い時に教えていただいていたら、知識を付けて今頃は大学の教授になっているか、大発明をして特許収入で悠々自適の生活ができていたかもしれません。

卓話者紹介

松岡 真由美 会員

竹村先生は、昭和57年に近畿大学医学部を卒業され、平成元年に医学博士号を取得されました。ご専門は小児科学です。平成7年から3年間、米国ヴァンダービルト大学へ留学され、帰国後は近畿大学へ戻り、医学部小児科学の主任教授になられました。平成20年に附属病院の副院長、平成24年に医学部堺病院の病院長に着任されています。また、平成30年からは和歌山県くしもと町立病院の事業管理者になられ、令和4年に退任するまでに長年赤字の病院を黒字に転じる経営手腕を発揮されました。現在は、客員教授として学生の授業に携わられており、ご多忙の中、大阪よりお越しいただきました。本日は、地域医療の現状を知る良い機会になればと考えています。

卓話「地方都市の地域包括ケアと自治体病院の将来像」

近畿大学 医学部 客員教授 竹村 司 様

平成30年に医療情勢を良くするために和歌山県串本町へ赴任しました。当初は、高齢化率が40%を超える町に小児科医が行って何ができるのかと不安な反面、勉強をしながら色々なことを進めていかなければいけないという気持ちでした。

串本町は360度を海に囲まれた本州最南端にある町です。高齢化率が高く、高齢者の約7割が要介護者となっています。更にこれから75歳以上の人口は増え続け、15歳から39歳の人口は減ってくるため、子どもは絶滅危惧種になるのではないかとされています。

私が赴任した時は、取り組まなければいけない問題が山積していました。まず、高齢者に対応する地域包括ケアシステムを作り上げることを一つの課題としました。その他に、人口減に伴う適正病床数の問題、老老介護・認認介護の支援、子どもの医療体制についても課題として挙げました。

確立した支援システムを作るには、ある程度の時間が必要となるため、応急的な対応として介護をしてい

る方の息抜きのために、介護をされている方を預かるレスパイト入院を始め、多くの方に利用していただきました。串本町では2025年以降65歳以上の人口が50%に達します。2020年以降から介護需要が医療需要を上回ることは分かっていたため、医療と介護のシームレスな連携のシステムの強化は喫緊の課題になっていました。このことから、高齢者が住み慣れた土地で生涯暮らせるように地域包括ケアシステムが必要だと考えました。

まずは元々ある病院内に介護医療院を設置しました。介護医療院は要介護高齢者の長期療養・生活のための施設です。設置基準には専属のケアマネージャーが必要になりますが、都市部のように簡単に見つかりませんでした。そのため、自分で試験を受けてケアマネージャーの資格を取得しました。次に在宅支援への取り組みも始め、訪問看護ステーションを立ち上げ、通所リハビリテーションも始めました。

高齢化が進行する地域では、医療と介護の融合が無ければ住民生活は安定しません。医療と介護を切り離れた考え方は、少子高齢化が進む過疎地では成り立ちません。高度な医療を提供するということだけが医療の本質ではなく、一番大事なことはその地域に応じて病院がどの様に変化していくかということです。

様々な取り組みを行いました。私が串本町へ行って3年目から黒字に転換し始めました。少子高齢化が進む過疎地の自治体では、まず新たなものを自ら作ってから新しい事業のスタートになります。なかなか一朝一夕にはいかないものだと実感しました。しかし、この不便さが様々なアイデアや工夫を生み出し、組織として実力を付けていく過程であるという前向きな考えでやっていくように職員には話し続けてきました。就任後は不便さを楽しむ余裕は最後までありませんでしたが、一つずつ組み立てて形にしていくことによって職員の達成感やモチベーションが高まっていくのではないかと期待を持ちながら改革を進めてきました。幸いやる気のある優秀な職員に恵まれたおかげで、5年間の地方勤務を無事に終えることができました。串本町には近畿大学の水産学部が誇るマグロの養殖場や観光名所で有名な橋杭岩があります。ぜひ皆さま一度串本町を訪れてみてください。

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. 例会終了後、4階グリーンルームにて理事会を開催します。

歌

ソングリーダー 宮田 正人 会員



「君が代」「我等の生業」

ニコニコBOX

山本 光伸 ニコニコ委員長

- 竹村先生、豊橋RCへようこそ。本日の卓話を楽しみにしております
福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- 本日の卓話者、竹村司先生のご紹介をさせていただきます
松岡 真由美 会員
- 竹村先生の卓話を楽しみにしております
岡村 正造 会員
- 今週の土日にロータリーフードフェスタが開催されます。是非、財団ブースにお立ち寄りください
高山 景一 会員
- 内孫が生まれました。女の子でした
神谷 君和 会員
- 5月3日に息子が入籍しました。立て続けですが、来週、娘も入籍します。二人とも良いパートナーに恵まれ、ほっとしています。これが先月ちょっと良いことかと言った件です
松坂 良太 会員
- 誕生日祝いで「たかちゃん」と呼んでいただきました。来週の誕生日は名城大学で7年目の講座を担当させていただきます。不動産鑑定士の道に進んでいただける学生の方が増えることを期待しています
小笠原 貴洋 会員
- 5月11日朝7:55より、メーテレの「サクセス」という番組にて、鈴木良昌会員が校長をされている豊橋調理製菓専門学校が紹介されます。是非ご覧ください。SMBC日興証券がスポンサーです。私も出ます
平林 邦幸 会員
- 本日のプログラムの中で、講師の先生のお名前と歌の歌詞を間違えてしまいました。福井会長と宮田ソングリーダーに助けていただきました。ありがとうございます
伊藤 健一 クラブ運営委員長 (順不同)

本日のゲスト

近畿大学 医学部 客員教授 竹村 司 様
米山奨学生 ブレンテグシ エンフバヤスガラン 君

誕生祝い



小笠原 貴洋 会員
(S.50年5月13日生)

出席報告

岡村 正造 出席委員

当日出席者 73名 計算会員数 95名中22名欠席
総会員数 110名 出席率 76.84%

例会予定

5月16日 (木) 卓話「スポーツを通して障がい者を笑顔に!」
5月23日 (木) ●クラブ・フォーラム「青少年奉仕」(夜間)